Cisco Prime Collaboration 配備を使用するクラスタ 移行

目次

概要

このドキュメントでは、Prime Collaboration Deployment（PCD）を使用した 2 つの Cisco Unified Communications Manager（CUCM）クラスタ間での移行方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CUCM リリース 10.0 および 10.5
- PCD リリース 10.5

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。 稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

Cisco PCD は、Unified Communications アプリケーションの移行/アップグレード用アプリケーションです。 PCD を使用して、既存の Unified Communications アプリケーションのバージョンを

アップグレードしたり、同一または異なるバージョンの新しいクラスタにクラスタ全体を移行したりできます。 このドキュメントでは、新旧のクラスタがどちらも Unified Computing System (UCS) プラットフォーム上にあることを前提として、CUCM バージョン 10.0 から 10.5 への移行手順を説明します。
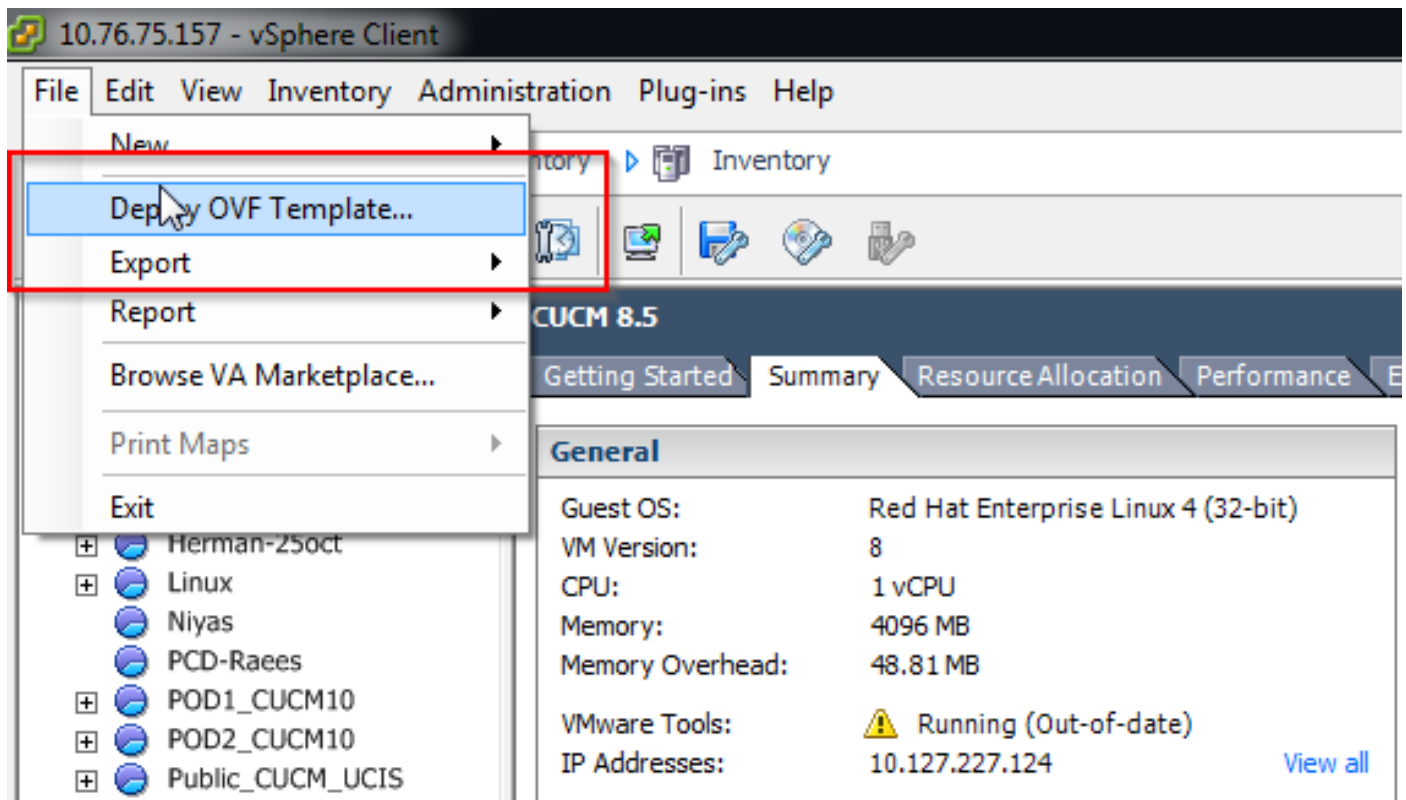
サポートされているバージョン、互換性、ライセンス、およびその他の移行前チェックリストの詳細については、次のリンク先を参照してください。 [Prime Collaboration Deployment を使用した Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5(1) への移行](#)
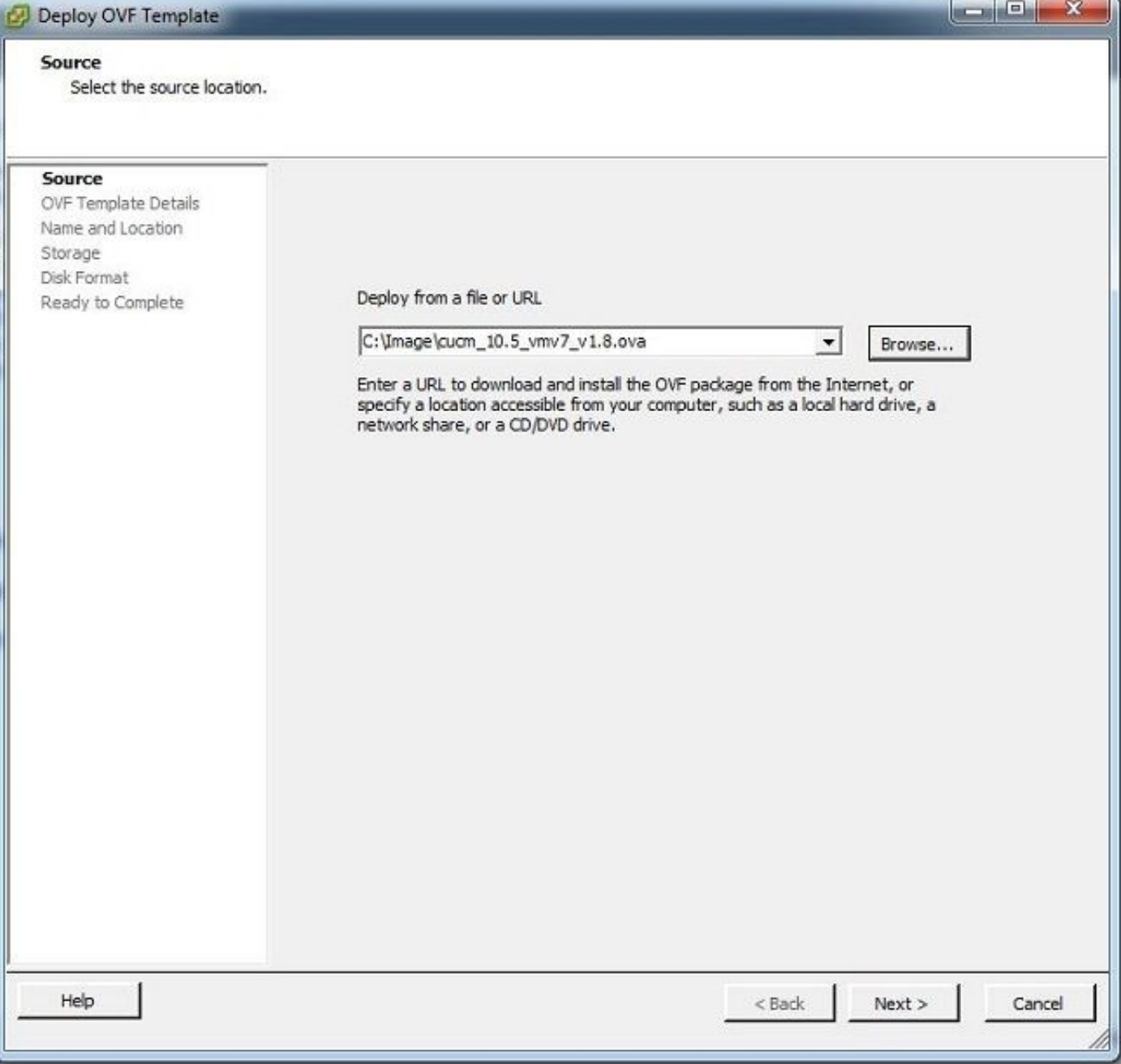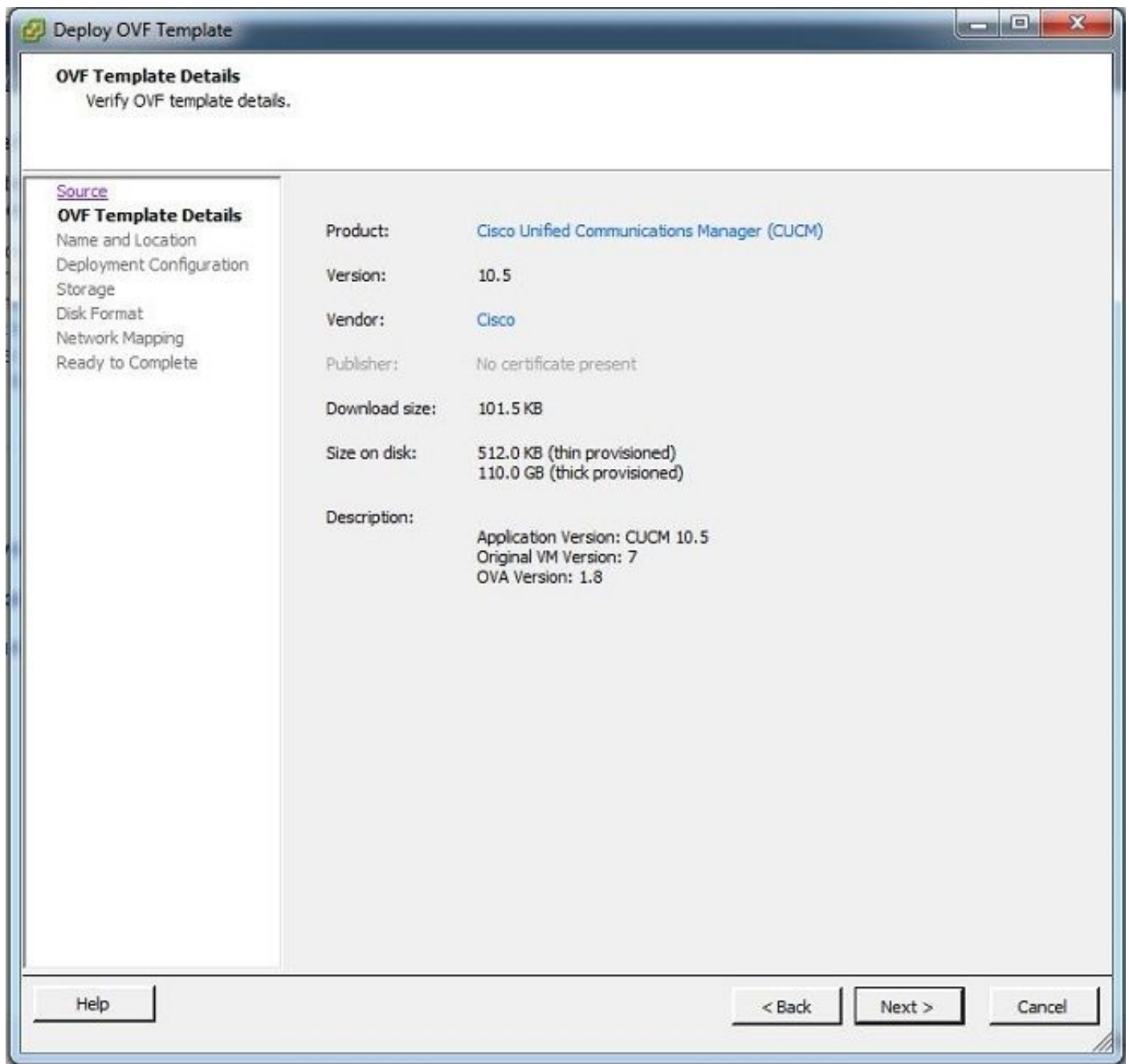
設定

宛先クラスタの構築

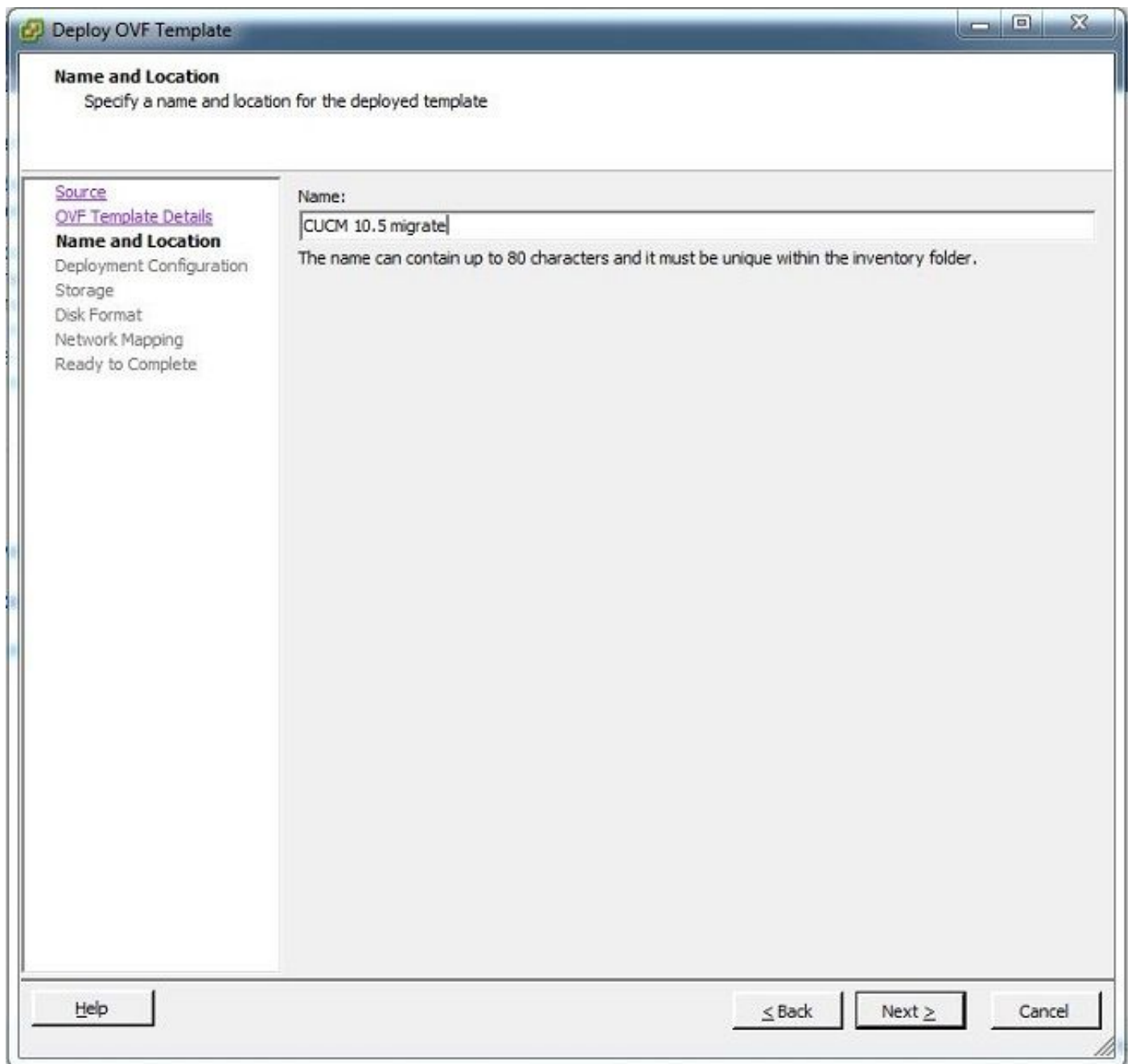CUCM の特定のバージョンに対応する適切な Open Virtualization Archive (OVA) テンプレートを使用して、移行先クラスタを構築します。 OVA ファイルは cisco.com からダウンロードできます。
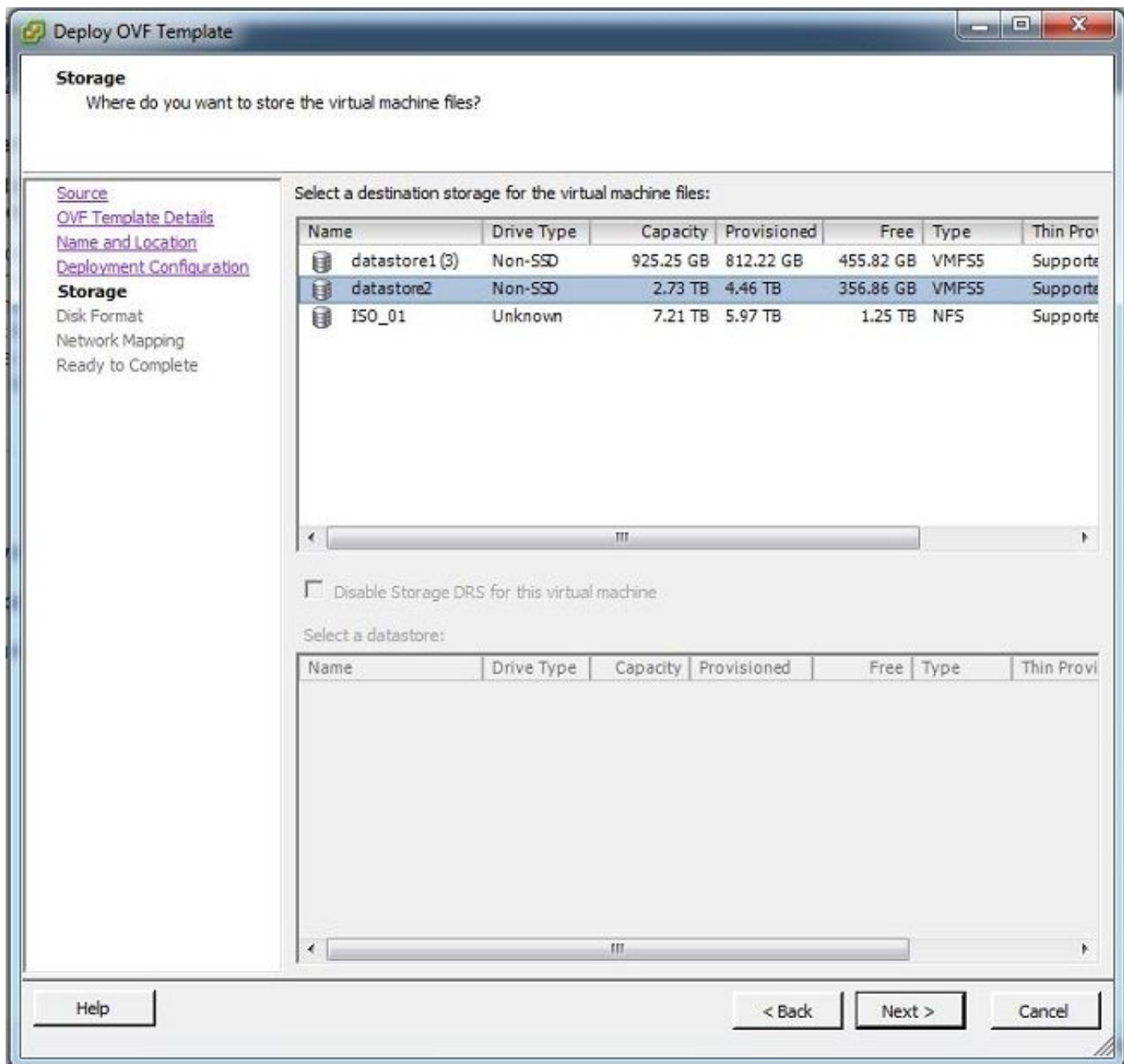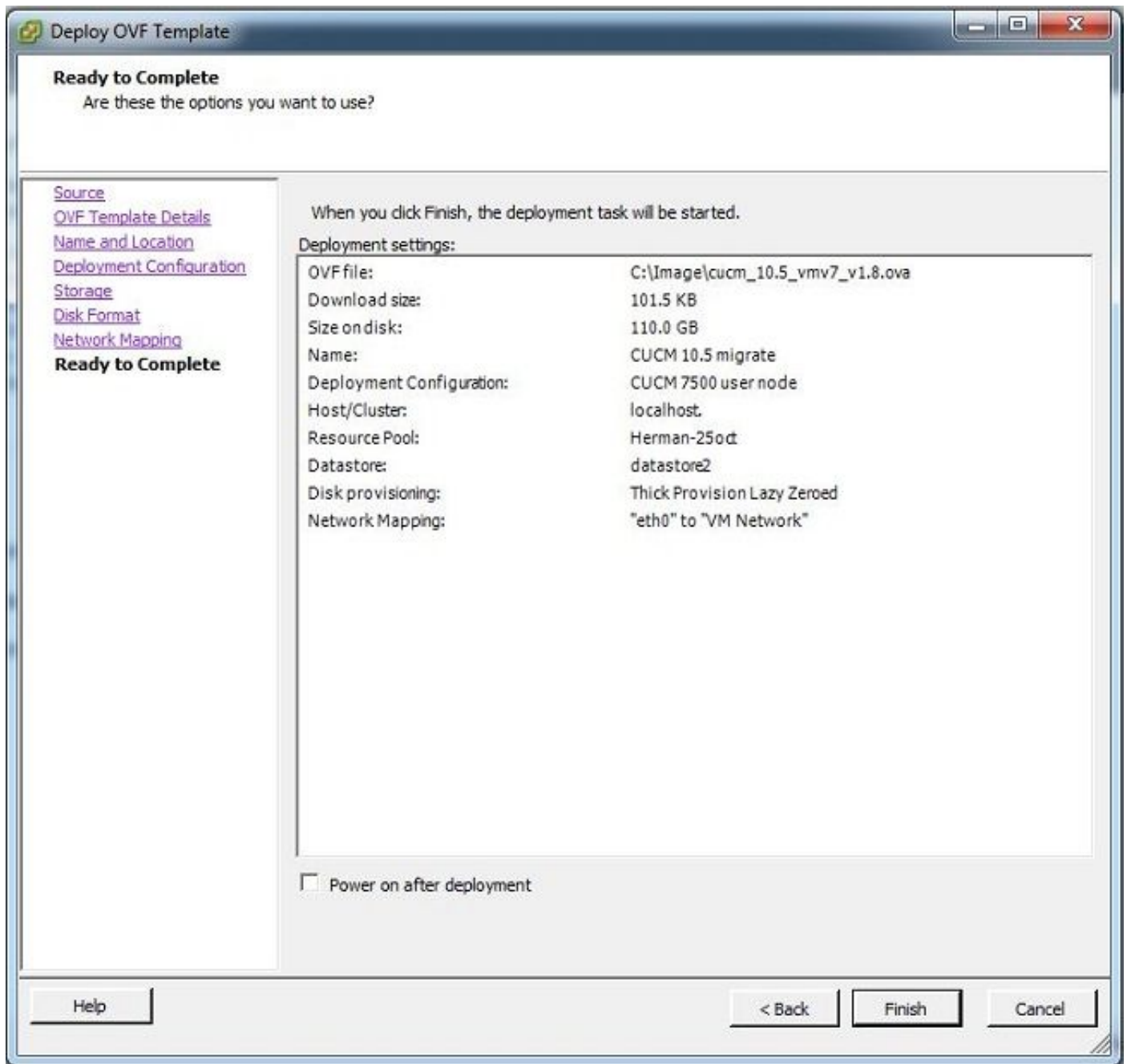
1. 次の図に示すように、Vsphere クライアントから OVA を導入します。

Deploy OVF Template

Source
Select the source location.

- **Source**
- OVF Template Details
- Name and Location
- Storage
- Disk Format
- Ready to Complete

Deploy from a file or URL

C:\Image\cucm_10.5_vmv7_v1.8.ova   ▼   Browse...

Enter a URL to download and install the OVF package from the Internet, or specify a location accessible from your computer, such as a local hard drive, a network share, or a CD/DVD drive.

Help   < Back   Next >   Cancel

2. 移行先クラスタの仮想マシンの名前を指定します。

3. ストレージ メディアとして適切なデータストアを選択します。

4. OVA の詳細を確認してから [Finish] ボタンをクリックします。
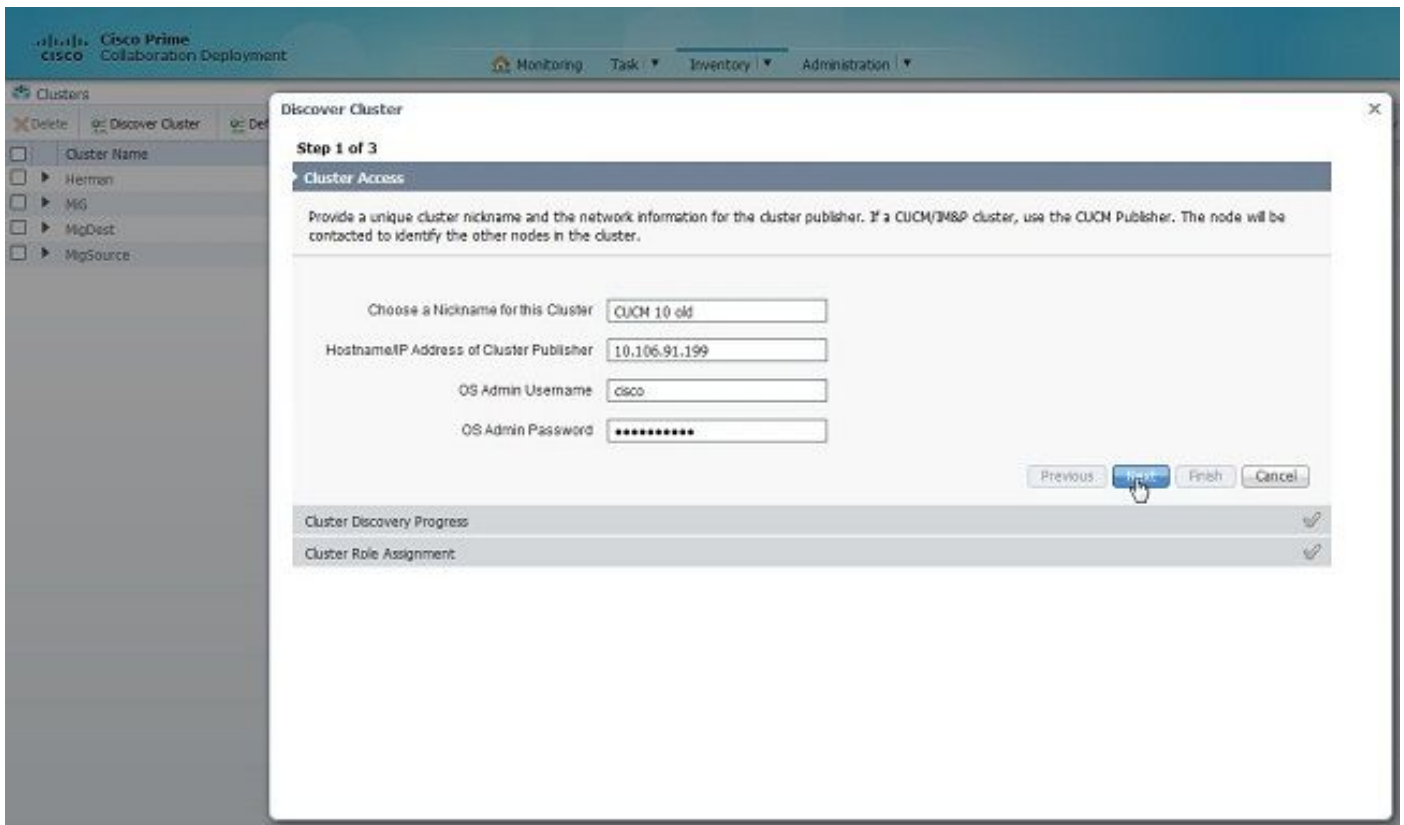
クラスタの検出

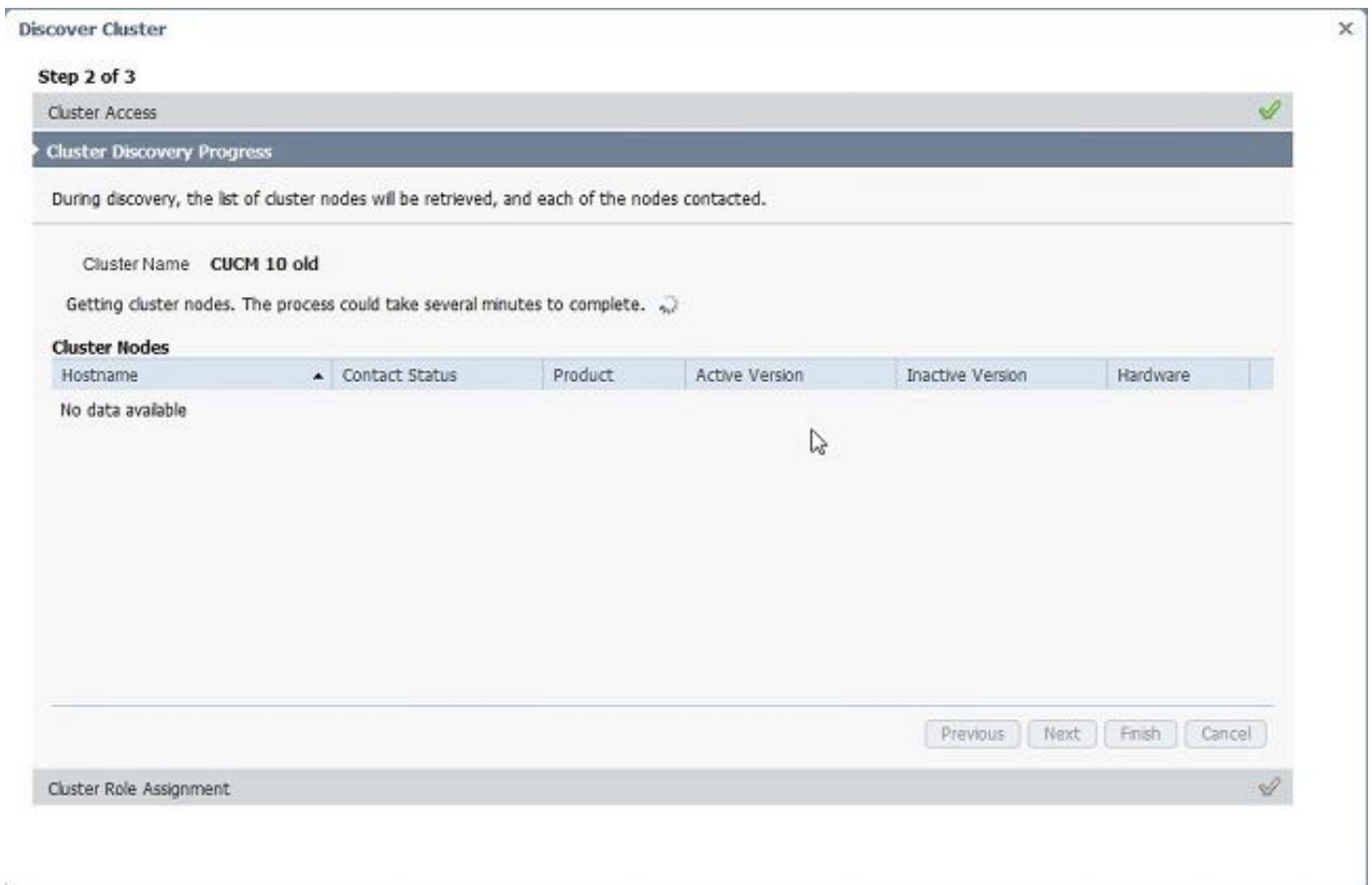1. PCD ツールの GUI にログインします。

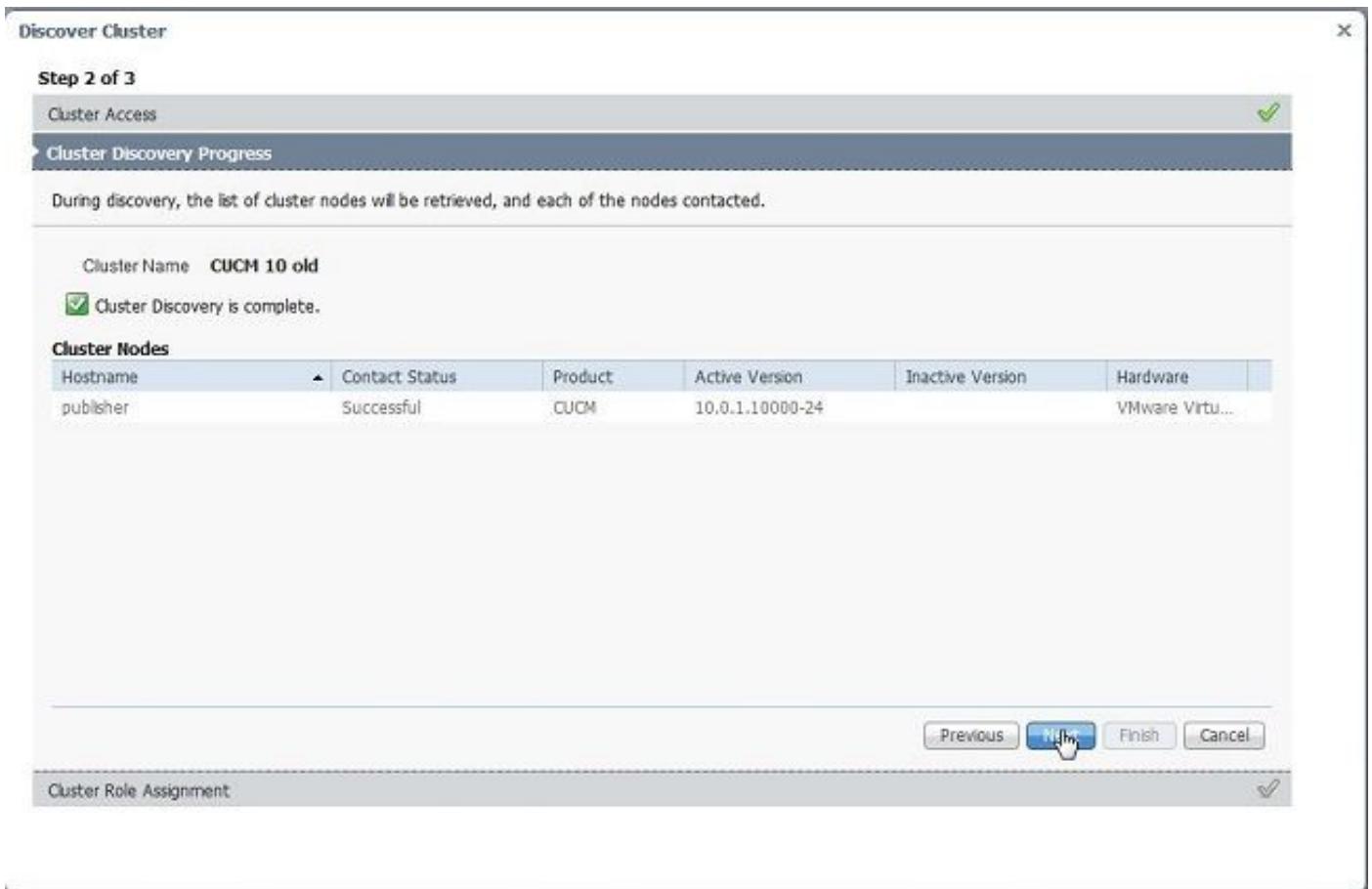2. ログインしたら、[Inventory] > [Clusters] に移動して、[Discover Cluster] をクリックします。
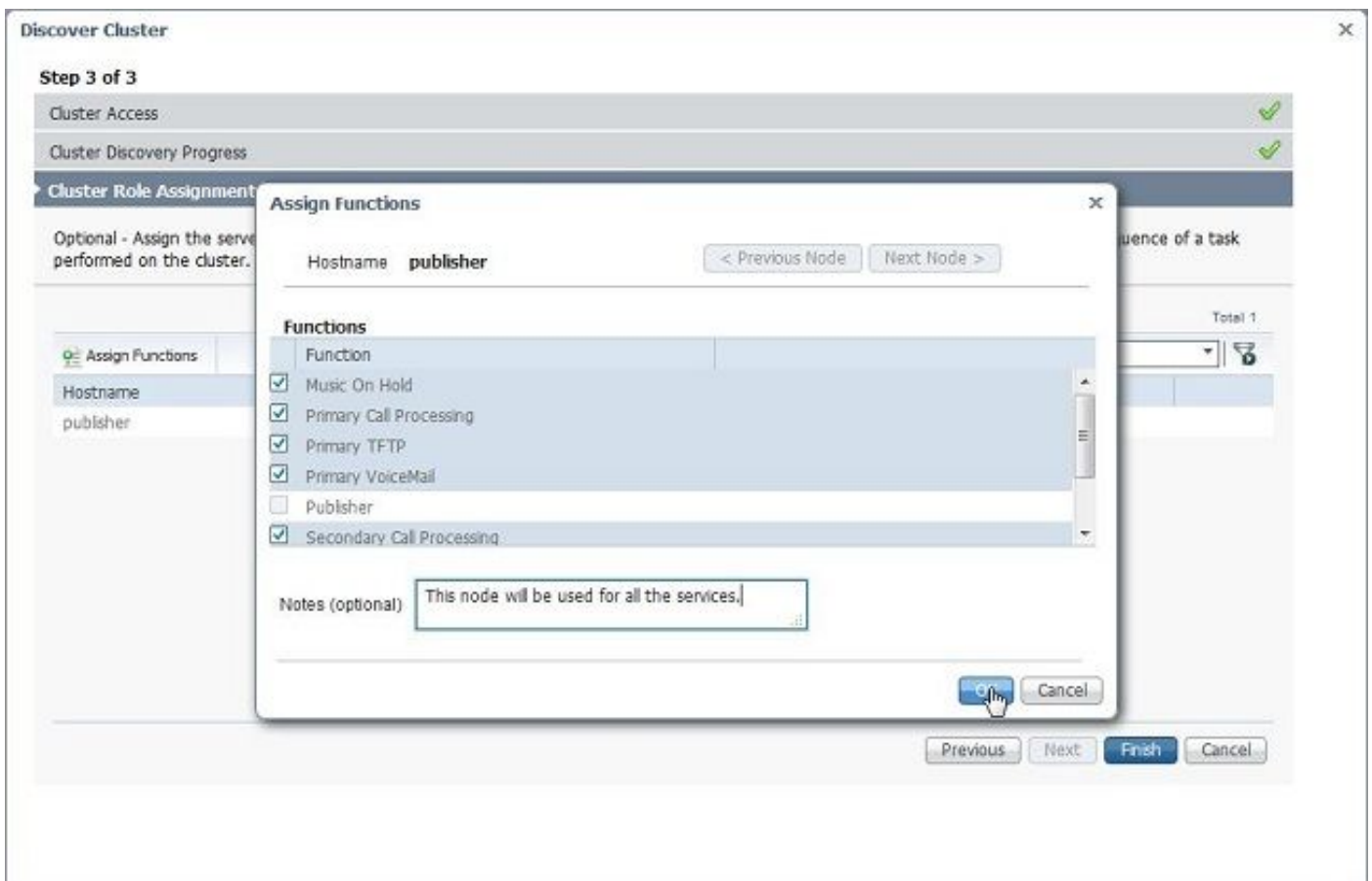

3. 既存のクラスタの詳細を入力し、[Next] ボタンをクリックします。

検出が完了するまでに数分かかる可能性があります。検出フェーズ中は、次に示す画面が表示されます。

4. 既存のクラスタが検出されると、[Contact Status] が成功として表示されます。クラスタ ノードでも、同じように表示されます。 [Next] ボタンをクリックして [Cluster Role Assignment] ページに移動します。
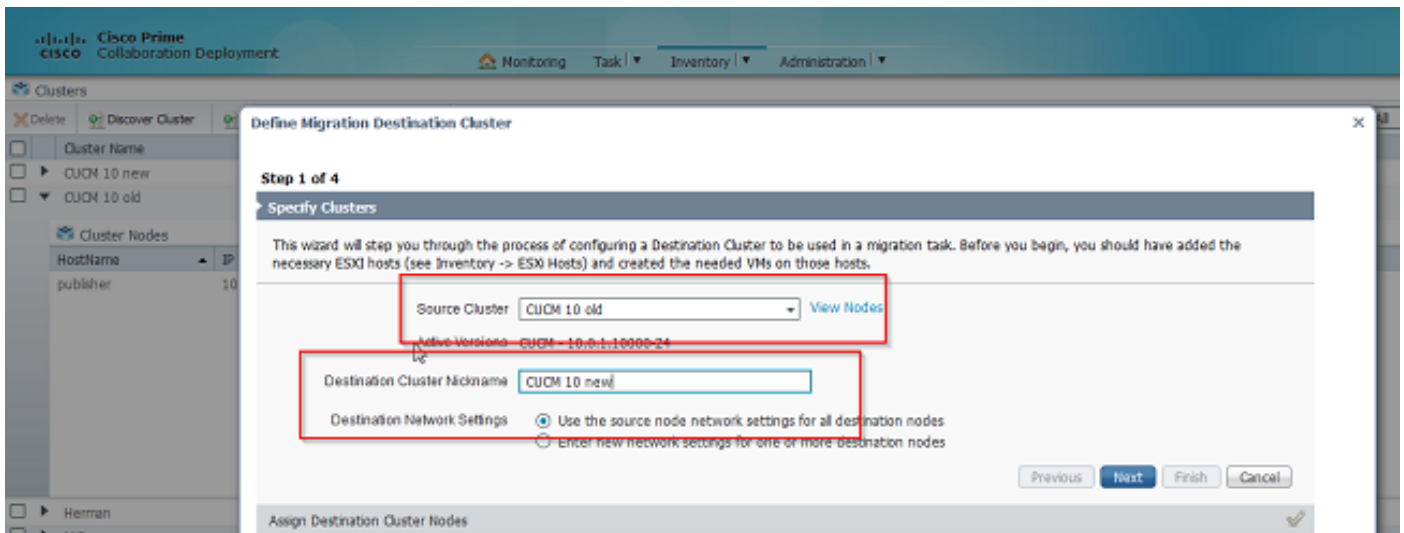
5. [Assign Functions] ページに移動し、ホスト クラスタとして適切な機能を選択します。

移行クラスタの定義

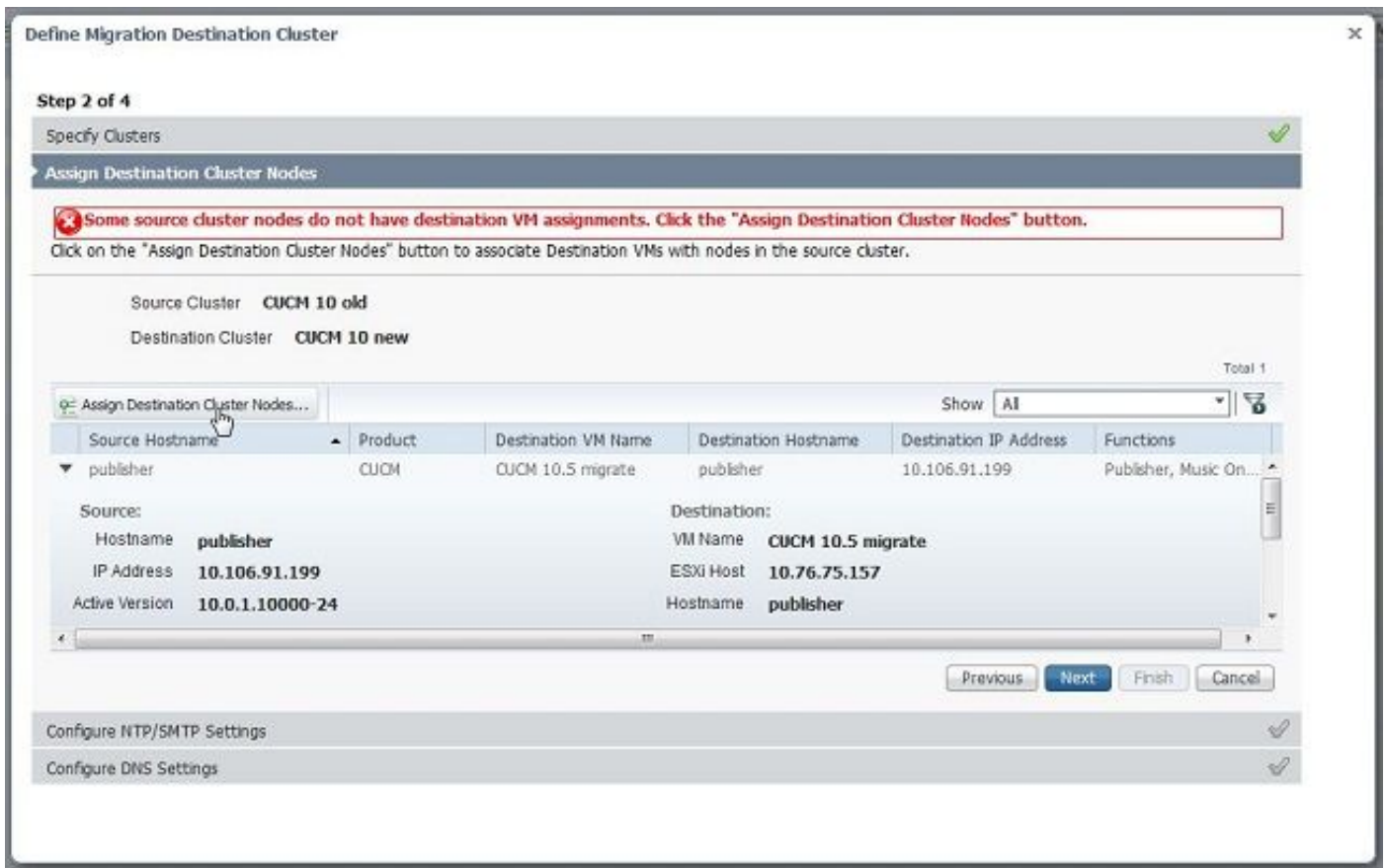1. クラスタが正常に検出されたら、移行先クラスタを指定するために、[Define Migration Destination Cluster] ボタンをクリックします。
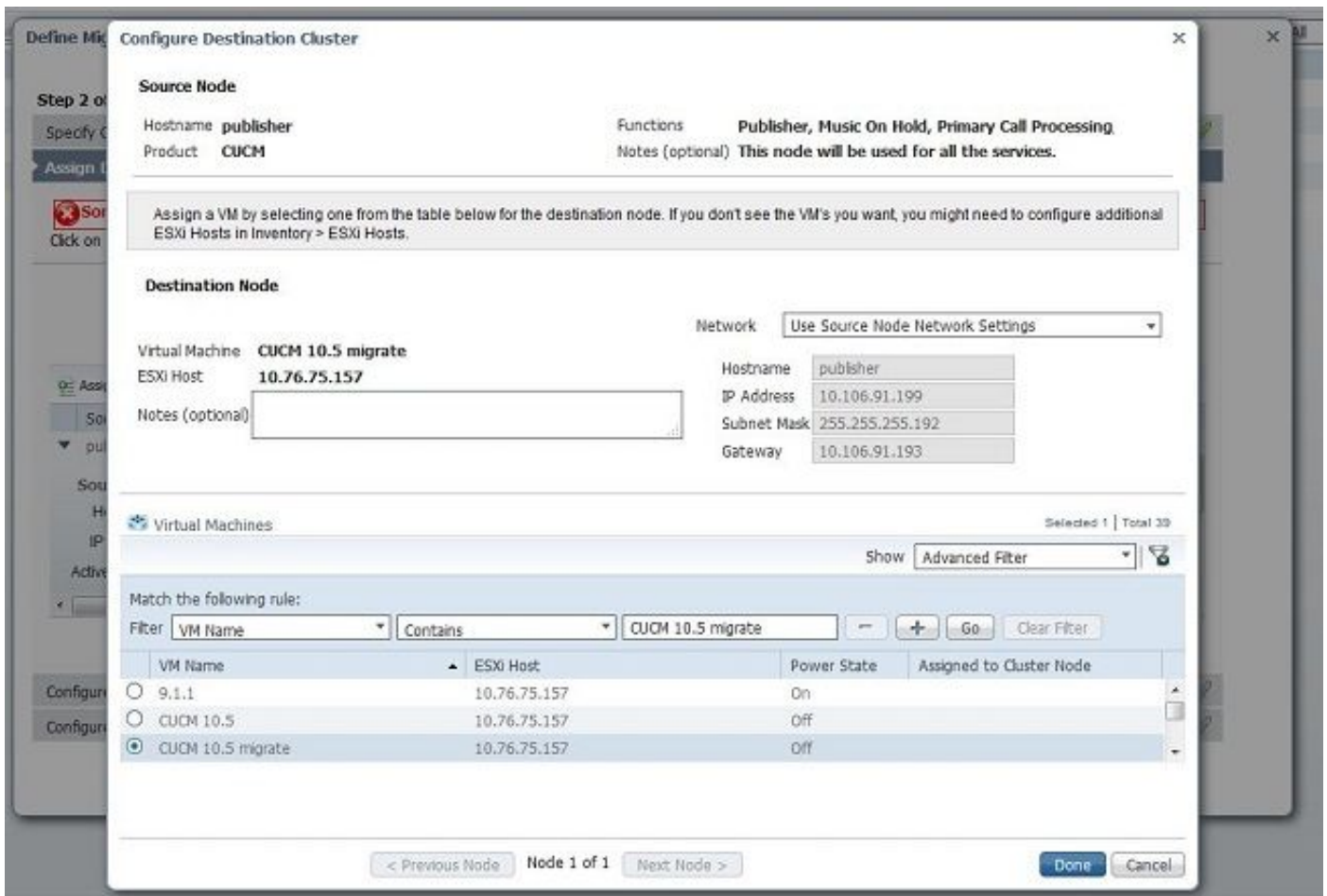

2. 新旧のクラスタの詳細を入力します。

宛先ノードが指定されていないと、赤色のメッセージが表示されます（次の図を参照）。

3. [Assign Destination Cluster Node] ボタンをクリックして、宛先ノードの割り当てを続けます（次の図を参照）。

4. [Network] ドロップダウン メニューから [Use Source Node Network Settings] オプションを選択して既存のネットワーク設定を保持し、新しいクラスタを導入する宛先仮想マシンを選択します。

5. 適切な Network Time Protocol（NTP）サーバの詳細を定義します（次の図を参照）。

6. ドメイン ネーム サーバ（DNS）を設定します（次の図を参照）。

7. FTP セキュア（SFTP）サーバに起動可能な ISO イメージをアップロードして下さい。 SFTP
クライアントから、サーバ IP アドレスとデフォルト資格情報 adminsftp/[デフォルトの管理者パ

スワード] を使用して PCD サーバにアクセスします。

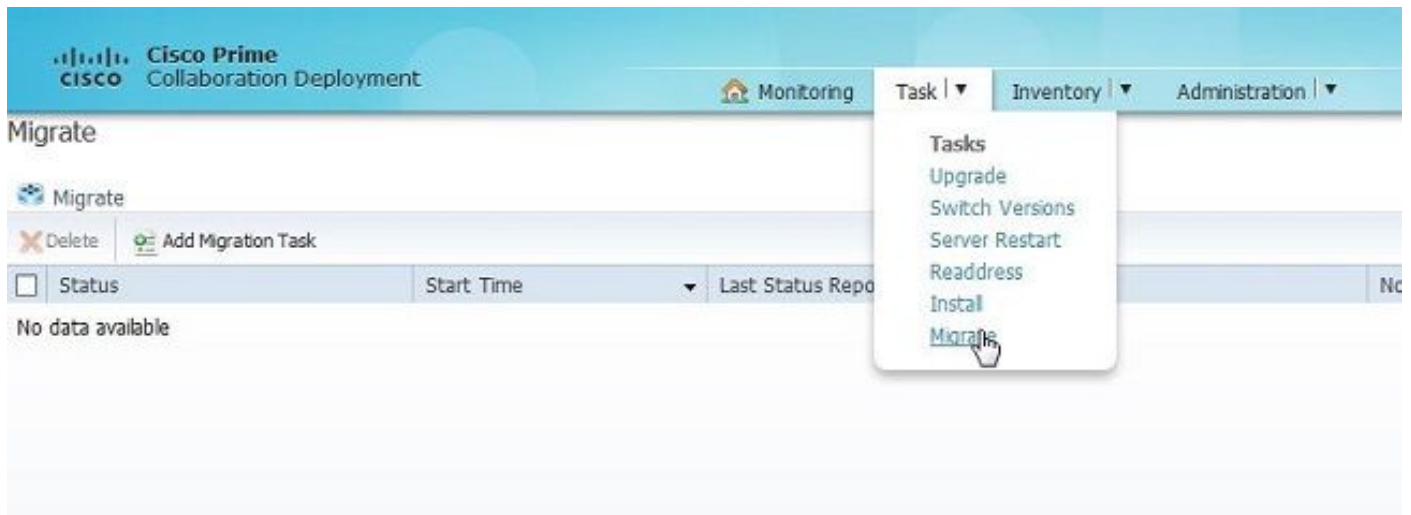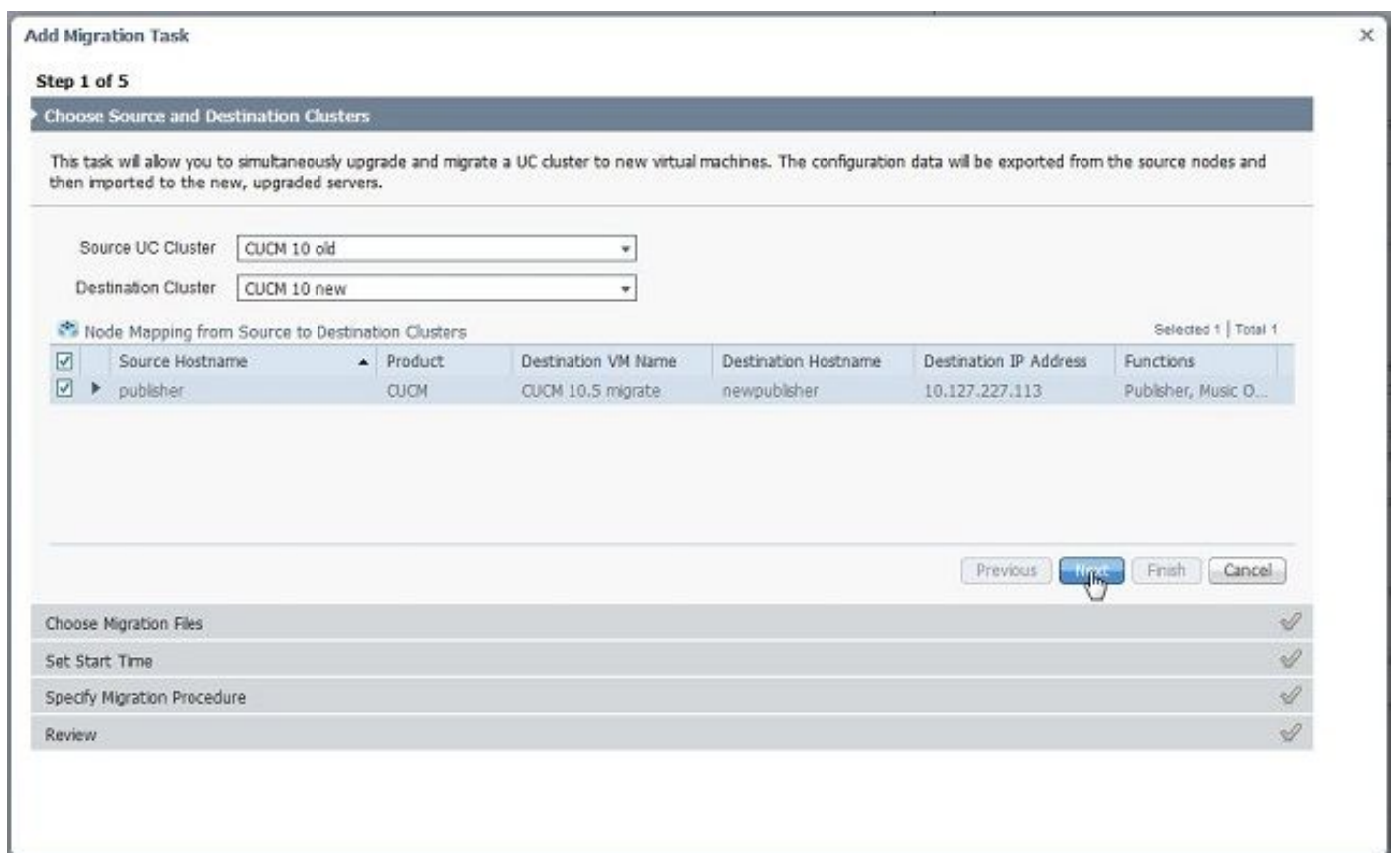ログインしたら、ISO イメージのアップロード先とする [Fresh_install] ディレクトリに移動します。

移行の開始

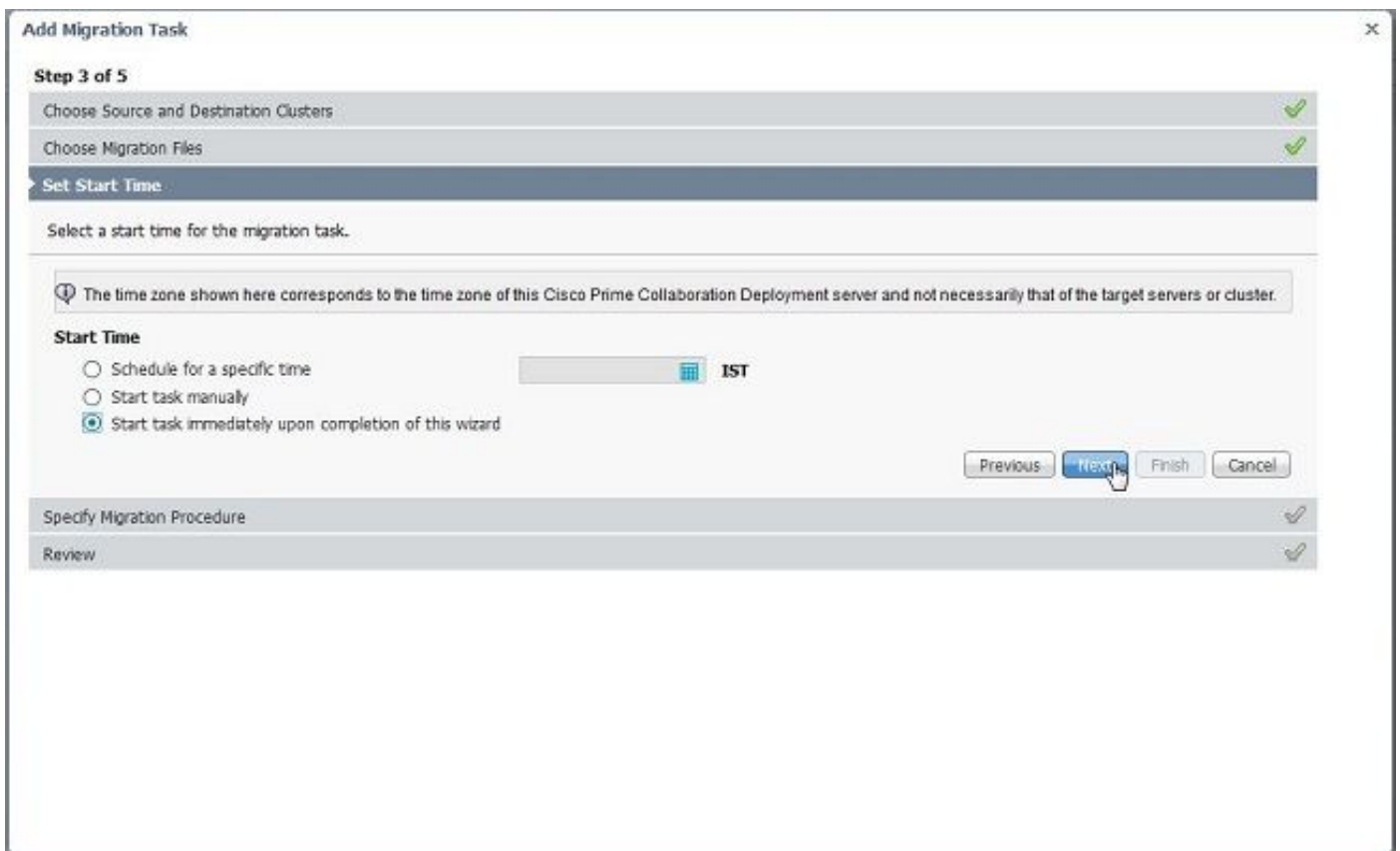1. 移行タスクを開始するには、[Task] > [Migrate] に移動して、[Add migration task] をクリックします。
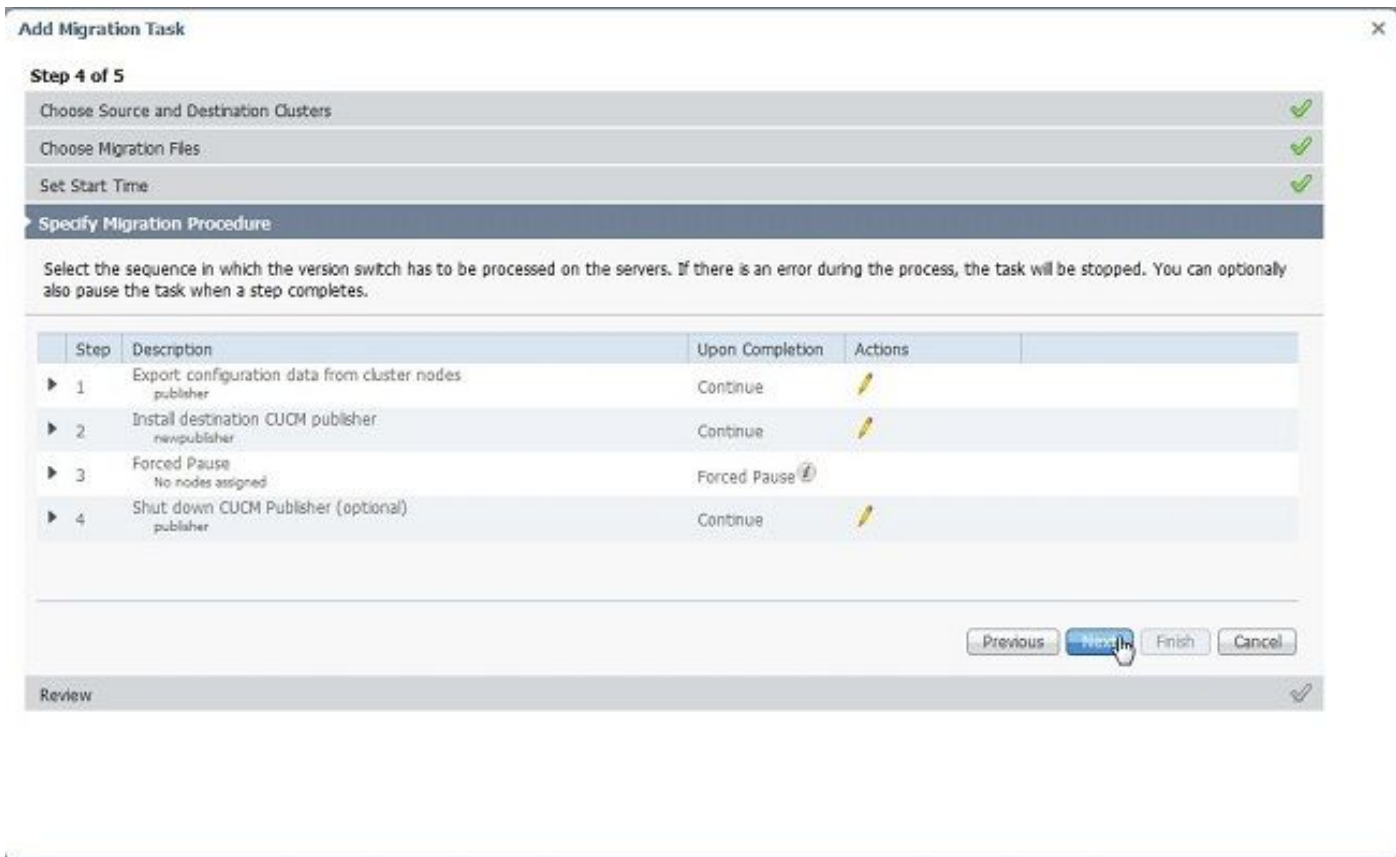
2. 移行元クラスタと移行先クラスタの詳細を指定します。

3. SFTP サーバの /fresh_install フォルダにアップロードしたブータブル メディアを選択します。
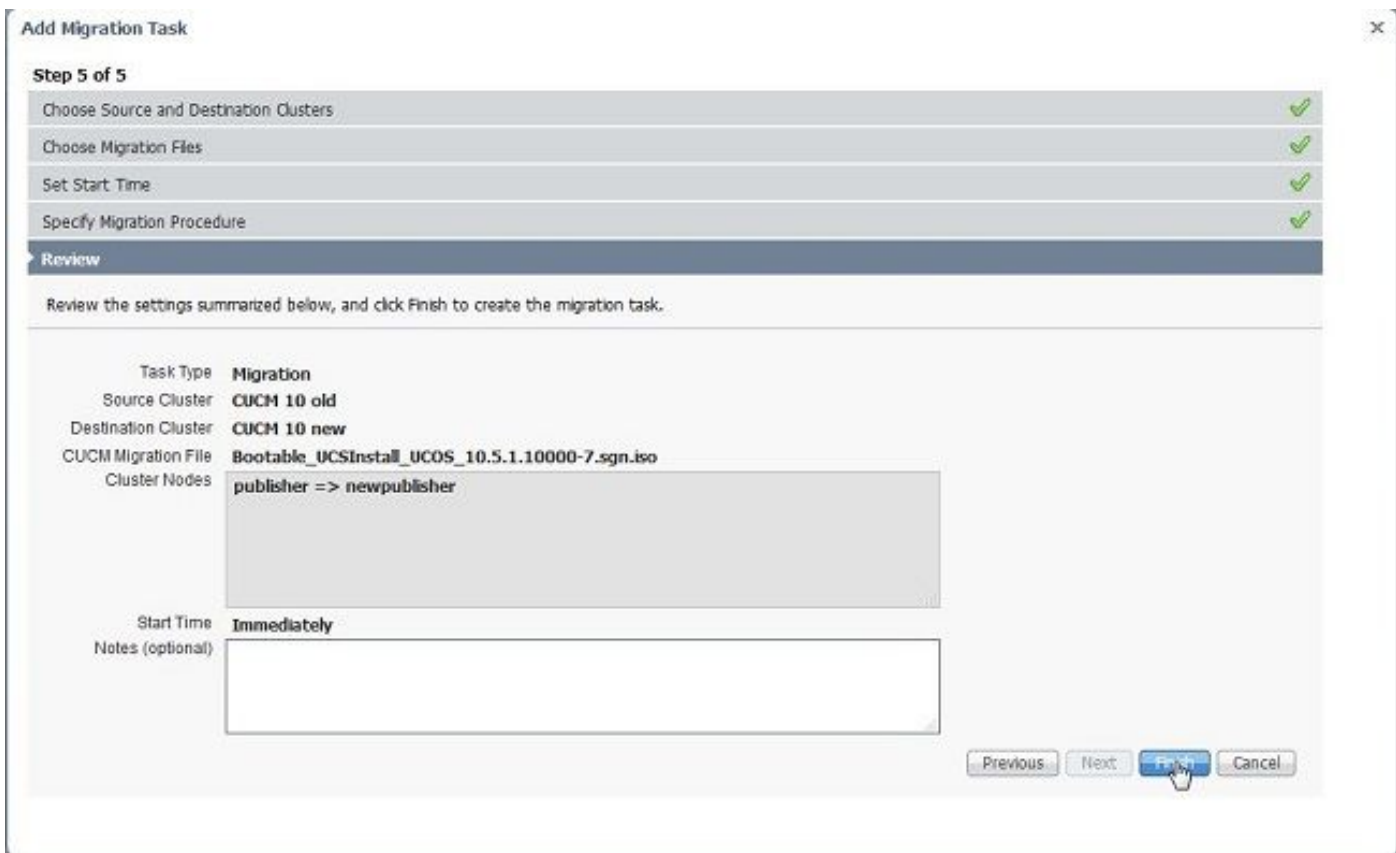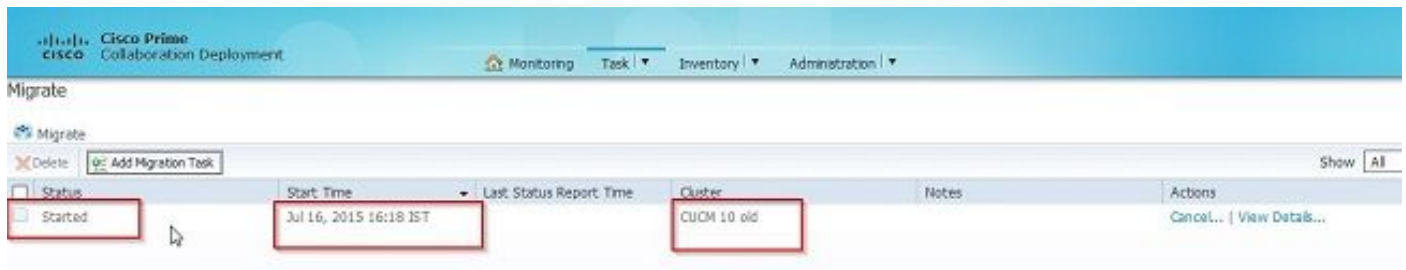
4. 移行の開始時刻を選択します。

デフォルトのタスク リストに指定されているアクションを変更することもできます。
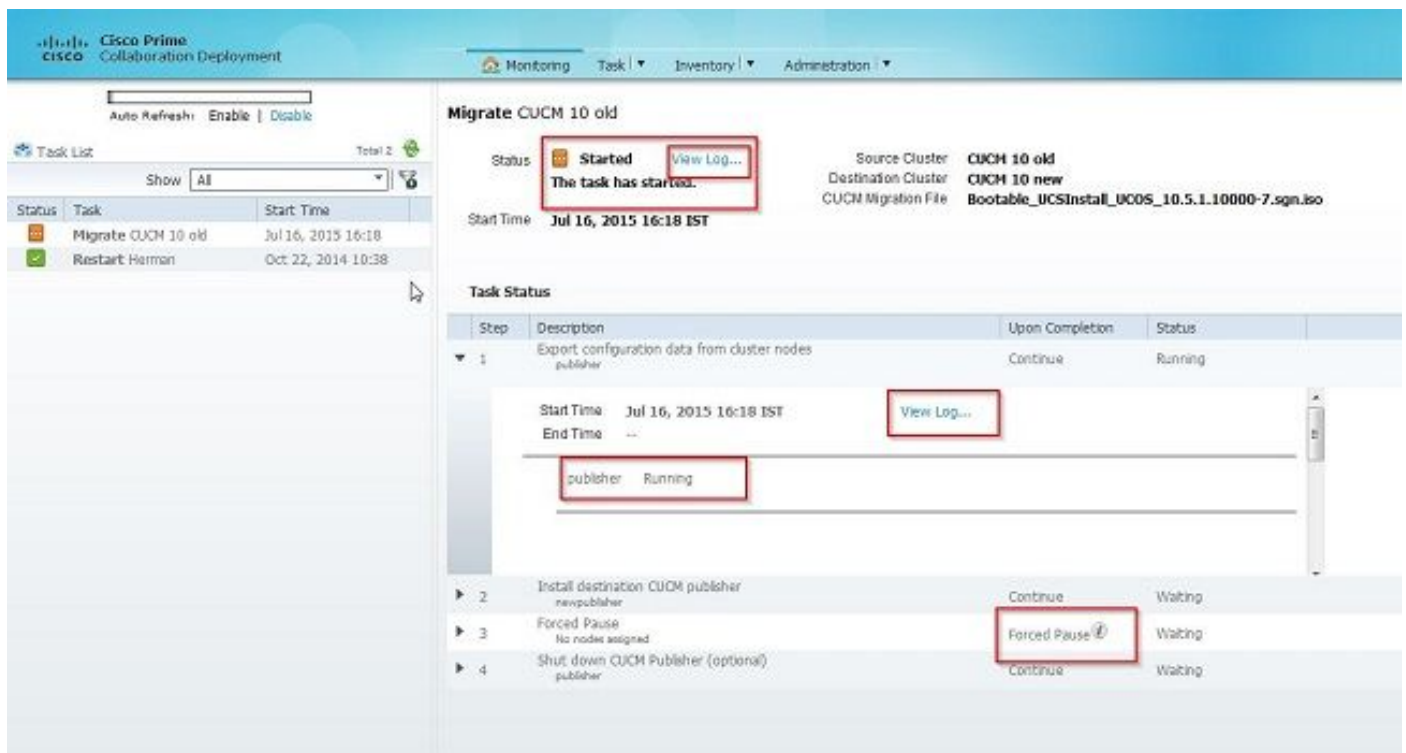
5. 移行の設定を確認してから、[Finish] **ボタンをクリックします。**

確認

次の手順に従って、移行のステータスと詳細を確認できます。

1. 移行ステータスの詳細を取得するには、[View log] をクリックします。

Migrate CUCM 10 old

Total 2

Status **Started** View Log...   Source Cluster **CUCM 10 old**
The task has started.   Destination Cluster **CUCM 10 new**

View Task Log

Show [All]

Timestamp ▲	Type	Messages
Jul 16, 2015 16:18 IST	STATUS	The task has been scheduled.
Jul 16, 2015 16:18 IST	INFO	Export task action ID #621 with 1 node(s) scheduled.
Jul 16, 2015 16:18 IST	STATUS	The task has started.
Jul 16, 2015 16:18 IST	INFO	Export task action ID #621 with 1 node(s) started.
Jul 16, 2015 16:18 IST	INFO	Export job for node publisher started.

Close

Migrate CUCM 10 old

Total 2

Status **Started** View Log...   Source Cluster **CUCM 10 old**
The task has started.   Destination Cluster **CUCM 10 new**

View Task Log

Show [All]

Timestamp ▲	Type	Messages
Jul 16, 2015 16:18 IST	INFO	Export task action ID #621 with 1 node(s) scheduled.
Jul 16, 2015 16:18 IST	INFO	Export task action ID #621 with 1 node(s) started.
Jul 16, 2015 16:18 IST	INFO	Export job for node publisher started.

Close

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。